

第6回 公益社団法人日本動物園水族館協会（JAZA）シンポジウム

いのちの博物館の実現に向けて

・・・消えていいのか、日本の動物園・水族館・・・

日時 2015年2月7日（土）13:00~16:00

会場 せんだいメディアテーク・7階スタジオシアター

動物園や水族館の最大の魅力は、生きた本物の動物に向き合い、体感できることです。しかし近年、動物園・水族館を取り巻く環境は厳しく、新たな未来像が求められています。このシンポジウムでは、動物園・水族館を「いのちの博物館」ととらえ、その果たすべき役割、課題などについて考えます。



◆開会挨拶 13:00

荒井 一利（JAZA 会長、鴨川シーワールド 館長）

◆基調講演 13:10

①生ある動物から学びつくすということ

齊藤 千映美（宮城教育大学環境教育実践研究センター 教授）

②支える命、伝える命 —水族館の教育資源—

西 源二郎（前東京都葛西臨海水族園 園長）

◆パネルディスカッション 14:15

テーマ 動物園・水族館が持つ教育資源の利用

コーディネーター 木下 直之

（JAZA 広報戦略会議 委員、東京大学文学部 教授）

パネリスト 齊藤 千映美

西 源二郎

遠藤 秀紀（JAZA 広報戦略会議 委員、
東京大学総合研究博物館 教授）

日橋 一昭（JAZA 生物多様性委員会 委員長、
狭山市立智光山公園こども動物園 園長）

植田 育男（JAZA 教育普及委員会 副委員長、
新江ノ島水族館）

主催：（公社）日本動物園水族館協会（JAZA）

共催：仙台市八木山動物公園

後援：環境省東北地方環境事務所、（公財）日本博物館協会、（公社）日本植物園協会、
宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県博物館等連絡協議会、
宮城教育大学環境教育実践研究センター、文化資源学会



いのちの博物館の実現に向けて

.....消えていいのか、日本の動物園・水族館.....

日本の動物園と水族館は、地域・日本・地球の宝である生き物の命を守りつなげることに貢献してきました。そこは、生き物の姿、生きる力、命の大切さを伝える、いわば「いのちの博物館」だからです。

動物園と水族館の多くは、戦後間もない時期に、地方自治体によって設立されました。戦後復興とともに成長し、日本社会の中に根を下ろしてきました。しかし、近年、動物園と水族館をとりまく環境は厳しく、これまでの経営方式や管理体制に見直しが求められています。財政難に直面する一方で、野生生物保全という一自治体の規模をはるかに越えたグローバルな役割を担いつつあるからです。こうした活動を担う人材の育成も急務の課題となっています。

動物園と水族館の最大の魅力は、映像ではなく、生きた本物の動物に向き合い、それを五感で体験できることです。しかし、その根幹ともいえる動物の収集・飼育・展示・繁殖が揺らいでいます。

かつて動物園の花形スターはゾウでした。今では、ゾウが死んだら補充はもはやほとんど不可能です。やがて、日本の動物園からゾウがいなくなるかもしれません。このままでは、明らかに行き詰まります。「消えていいのか、日本の動物園・水族館」と問いかける理由です。

このたびのシンポジウムでは、動物園と水族館を「いのちの博物館」ととらえ、その実現に向けて、越えるべき課題、果たすべき役割を考え、地方の動物園が目指す新たな未来像について考えます。

2015年2月7日（土）13:00～16:00 <せんだいメディアテーク・7階スタジオシアター>

13:00 開会挨拶
荒井 一利（JAZA 会長、鴨川シーワールド 館長）

13:10 基調講演
①生ある動物から学びつくすということ
齊藤 千映美
（宮城教育大学環境教育実践研究センター 教授）

②支える命、伝える命 -水族館の教育資源-
西 源二郎
（前東京都葛西臨海水族園 園長）

14:00 休憩

14:15 パネルディスカッション

テーマ 動物園・水族館が持つ教育資源の利用

コーディネーター 木下 直之（JAZA 広報戦略会議 委員、東京大学文学部 教授）

パネリスト 齊藤 千映美
西 源二郎
遠藤 秀紀（JAZA 広報戦略会議 委員、東京大学総合研究博物館 教授）
日橋 一昭（JAZA 生物多様性委員会 委員長、
狭山市立智光山公園こども動物園 園長）
植田 育男（JAZA 教育普及委員会 副委員長、新江ノ島水族館）

16:00 閉会

ACCESS



【アクセス】
地下鉄・・・仙台駅から泉中央行で3分、勾当台公園駅下車「公園2」出口から徒歩6分
バス・・・仙台市営バス 仙台駅前29番（荘内銀行前）のりばから「定禅寺通市役所前」経由
交通局大学病院」行（系統番号J410）で約10分、メディアテーク前下車

●申込方法

e-mail、ファックスで2015年1月7日から受け付けます。定員は160名です。先着順に受け付け、定員に達した時点で終了とさせていただきます。

参加希望の方全員の氏名、住所、電話番号を記入して下記へお送りください。確認後、事務局から参加証を返信します。6日経っても返信が無い場合は、下記事務局あてにお問い合わせください。

e-mail : ken010310@city.sendai.jp へお送りください。参加証を添付ファイルとして返信します。

ファックス：「2/7シンポジウム」と明記して、022-229-3159 へお送りください。

折り返し参加証をファックスで返信しますので、ファックス番号を必ず記入してお送りください。

●お問い合わせは

仙台市八木山動物公園「第6回 JAZA シンポジウム事務局」

TEL : 022-229-0122 FAX : 022-229-3159

e-mail : ken10310@city.sendai.jp



この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する事業として認定を受けています。